

さあ、漕ぎ出そう 奏でよう

年間聖句「わたしは道であり、真理であり、命である。」ヨハネ14章6節

| 0歳児 | 1・2歳児 | 3歳以上 |
|---|---|--|
| みんなだいすき | そうなんだ | 響き合う |
| 身近なともだちの存在を感じ、保育者や友だちとやりとりしながら、模倣遊びを楽しむ | 友だちと関わる中で、友だちのいろいろな思いに触れ考える | 祈りが習慣となり、自分や家族のことを祈ろうとする |
| ・冬の自然を感じながら遊ぶ | 寒い中にも春が近づいていることを感じ、自然の不思議さやおもしろさに気づき、「楽しむ | お互いに存在を認め合い、相談しながら、時間をかけて思いを実現していく過程を楽しむ |

「一寸先は光」

あれ？なんかちがう！と思われませんか。そう本当は「一寸先は闇」、これが正解です。

上記のように詠んだのはアンパンマンの作者やなせたかしさんです。

私たちは誰もが幸せに生きていたいと思いつつも、先が見通せなくて、お先真っ暗に思える日もあります。

やなせたかしさんは誰もが感じるであろう人生の暗闇の部分を取って「光」と置き換えられました。普通ならば「闇」を感じる場所を「光」と言い切る、闇ではなくてむしろ希望だと捉えようということなのです。

何と逞しい生き方、アグレッシブな心構えかと感心し、感動すら覚えます。

これから先、世界がどのように変わっていくのか、見通せない未来を生きる子ども達が、このような逞しい生き方、アグレッシブな心構えを持ち、希望に溢れて自分の未来を切り拓いたら、どんなに素敵でしょうね。

2月、年長児の子どもたちは卒園に向けて聖書の中の言葉（聖句）の暗唱をし出します。

毎年のように子どもたちと暗唱する聖句として以下のようなものがあります。

* 友はどんな時でも愛するものだ。兄弟を苦しみを分け合うために生まれる 箴言17章17節

* 何事でも自分にしてもらいたいことは、他の人にもそのようにしなさい。マタイ7章12節

覚えた聖句がこれからの先の人生の中できっと役に立つことができると信じて。

犬童れい子

* 2月6日～20日熊本学園大学社会福祉学科から2名の学生が実習に来ます。

